

第1号（報告事項）

令和3年度事業報告

概要

本年度は大変目まぐるしい年度でありました。夏にはコロナの感染防止対策の中、1年遅れで東京オリンピックが開催され、その後の菅内閣から岸田内閣への政権交代という大きな政治イベントがありました。コロナ感染症のせいで経済活動が停滞する中であって、我が業界にとって一番のコスト高要因である飼料価格が過去最高に迫ろうとしており、先行きの見通しも立ち難い現状であります。飼料価格は原料価格、為替、海上運賃で決まると言われていますが、1バレル100ドルを超える原油高に端を発した商品高による、トウモロコシ、大豆等の飼料原料高に加え、日米の金利政策の違いによる円安、原油高による海上運賃の高止まり、さらに加えて想定外のロシアによるウクライナ侵攻というとんでもない事が起こり、様々の価格高騰に拍車がかかっています。このような状況下であって、安価なタンパク源の供給の根幹部分を担う素雛業界にとっても猛烈なアゲンストの風が吹いており、清浄雛の安定供給という使命を全うして行くことが危ぶまれる事態になってきております。正常な価格転嫁（素雛価格の値上げ）が喫緊の課題になっているのは論を待たない状況であります。ベースになるのは良質な雛の生産・安定供給でありその為の経営体質強化に関する事業を進めて来ました。

鳥インフルエンザについては昨年度に続き、2年連続での国内発生という事態になりました。かつては3年に1度のサイクルで発生するとか渡り鳥が帰ると鳥インフルエンザも終息に向かうと言われていましたが、ウィルスが国内に定着しているかもしれないとの報告もあり、気が抜けない状況になっております。厳格な衛生管理の徹底と防疫対応に加えて我が業界の種鶏場での発生があり、事後対応についても委員会を設けて対応してきました。

令和3年度に実施した各事業の実施状況は次のとおり。

I 公益目的事業

1. 種鶏導入調査事業（自主財源）

（1）レイヤー素ひな計画生産検討会・レイヤー孵卵部会・ひな育成部会

年度中に2回（令和3年7月16日（金）、令和4年2月18日（金））開催し、レイヤー種鶏導入実績及び種鶏導入計画を基に「令和3年次及び令和4年次の素ひな生産見込み等について検討を行い、レイヤー素ひなの生産見込み羽数を公表した。

(2) ブロイラー素ひな計画生産検討会・ブロイラー孵卵部会

年度中に2回（令和3年7月16日（金）、令和4年2月18日（金）開催しブロイラー種鶏導入実績及び種鶏導入計画を基に令和3年次及び令和4年次の素ひな生産見込み等について検討を行い、ブロイラー素ひなの生産見込み羽数を公表した。

2. 素ひな供給安定推進事業（孵卵場体質強化推進事業）

（JRA 助成金事業、自主財源事業）

(1) 鶏ひなふ化羽数調査事業

毎月全国の孵卵場（90か所、レイヤー27孵卵場、ブロイラー63孵卵場）を対象に実施。レイヤーについては採卵用めすの素ひなの出荷・え付け羽数、ブロイラーについてはブロイラー用素ひなの出荷・え付け羽数について都道府県別を調査した。

(2) 鶏ひなふ化羽数データの公表

調査結果は、毎月概要として協会のホームページに公表すると共に、調査協力孵卵場に情報を提供した。また年報としてとりまとめて公表した。

(3) 素ひな出荷・え付け羽数実績（全国、令和3年1月～12月）

※採卵用めすえ付け羽数

※ブロイラー用え付け羽数

3. 鶏肉の消費促進事業（自主財源）

全国鶏肉消費促進協議会に対して協力負担金を拠出して協力。

全国鶏肉消費促進協議会（事務局（一社 日本食鳥協会）

主な事業：国産チキン祭りへの後援、助成

構成団体：（協）日本飼料工業会、全国農業協同組合連合会

（一社）日本養鶏協会、（一社）日本食鳥協会

（一社）日本種鶏孵卵協会

4. 孵卵場体質強化推進事業（JRA 助成金・自主財源事業）

(1) 孵卵場体質強化推進委員会 開催

① 委員構成

竹原 一明：東京農工大学 教授、獣医師・獣医学博士

林 政彦：独立行政法人 家畜改良センター岡崎牧場 場長

都丸 高志：（株）トマル 代表取締役 会長

渡邊 周治：（株）ゲン・コーポレーション 代表取締役 社長

② 事業推進委員会の開催

第一回事業推進委員会

開催日：令和3年6月11日

開催場所：馬事畜産会館及びWEB参加

出席者：竹原委員、林委員、都丸委員、渡邊委員、山上理事、事務局 笹

協議決定事項：

1. 種鶏孵卵衛生管理士研修会の講義科目の見直しをする。
2. 白河の中央研修所の代替会場を確保する。

第二回事業推進委員会

開催日：令和3年9月17日

開催場所：馬事畜産会館及びWEB参加併用

出席者：竹原委員、林委員、都丸委員、渡邊委員、山上理事、事務局 笹

協議決定事項：コロナウイルス禍のため会場に集合しての研修会開催の中止を決定。代替としてWEBによる研修会開催を決定

第三回事業推進委員会

開催日：令和4年3月3日

開催場所：馬事畜産会館及び書面参加

出席者：竹原委員(書面)、林委員、都丸委員、渡邊委員、山上理事、事務局 笹

協議事項：

1. 令和3年度孵化場体質強化推進事業 実績報告
2. 種鶏孵卵衛生管理士研修会 実施報告
3. 研修会 受講者アンケート 報告
4. 令和4年度孵化場体質強化推進事業
研修会場及び日程

岡山(10月11日～14日)

白河(10月18日～14日)

(2) 種鶏孵卵衛生管理士研修会

コロナウイルス禍のため、会場における集合研修に代替し、会員企業の協力を得てWEBによる研修会を開催した。参加者76名。

5. 畜産生産力・生産体制強化対策事業 (農林水産省補助事業)

(鶏のうち 始原生殖細胞(PGCs)の凍結保存等技術の習得及び普及)

(1) 始原生殖細胞(PGCs)の凍結保存等技術の習得

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構と技術者養成の業務委託契約を締結し、令和3年11月15日から同月26日に研修生3名を受

け入れて実施した。

- (2) 始原生殖細胞 (PGCs) の凍結保存等技術の普及
令和4年2月24, 25日に岐阜県において技術取得のセミナーを開催し、
全国各地から9名の参加者を受け入れて実施した。

Ⅱ 種鶏孵卵経営対策事業 (自主財源事業)

1. 地域協議会等組織強化対策事業

(1) 東日本レイヤー孵卵協議会

・通常総会

開催日：令和3年5月19日(水)

場 所：書面決議、書面出席会員 9社

議 題：i 令和2年度事業報告及び決算報告

ii 令和3年度事業計画及び予算案

その他 現地協議会は開催延期。

(2) 中部レイヤー孵卵協議会

・通常総会

開催日：令和3年4月30日(金)

場 所：書面決議、書面出席会員 5社

議 題：i 令和2年度事業報告並びに貸借対照表、収支決算報告

ii 令和3年度事業計画並びに収支予算案

(3) 九州・四国レイヤー孵卵協議会

・通常総会

開催日：令和3年6月30日(水)

場 所：書面決議、書面出席会員 7社

議 題：i 令和2年度事業報告及び収支決算に関する件

ii 令和3年度事業計画並びに収支予算案承認の件

(4) 東日本ブロイラー孵卵協議会

・通常総会

開催日：令和3年6月9日(水)

場 所：書面決議 書面出席会員21社

議 題：i 令和2年度事業報告及び収支決算に関する件

ii 令和3年度事業計画並びに収支予算案承認の件

(5) 西日本ブロイラー孵卵協議会

・通常総会

開催日：令和3年7月21日(水)

場 所：WEBによる開催 19社 25名参加

議 題：i 令和2事業報告及び収支決算について

2. 各部会の開催状況

(1) 原種鶏部会

1. 令和3年度通常総会

開催日：令和3年7月29日（木）

場 所：WEBによる開催

出 席：会員7社、10名、日本種鶏孵卵協会 1名

議 題

i 令和2年度事業報告及び決算報告

ii 令和3年度事業計画、予算（案）

Ⅲ 原種鶏部会 協会会費について

Ⅳ その他 部会総会開催時の役割分担について

2. 農林水産省消費安全局動物衛生課・動物検疫との情報交換会

開催日時：令和3年12月1日（水）10：30～11：30

出席者：農林水産省 消費・安全局動物衛生課 3名

畜産局畜産振興課 4名

動物検疫所横浜本所 1名

原種鶏部会員 渡邊会長 以下 8名

日本種鶏孵卵協会 2名

(2) 国産鶏普及協議会

・令和3年度通常総会

開催日：令和3年7月1日（木）

場 所：書面決議、書面出席社 12社

議 題：i 令和2年度事業報告及び決算報告

ii 令和3年度事業計画及び収支予算案

iii 令和3年度会費徴収につい

その他：令和3年度の国産鶏飼養優良経営農家表彰は中止した。

(3) レイヤー孵卵部会

1. 第1回 開催日：令和3年7月16日（木）

場 所：馬事畜産会館及びWEB参加

出 席：10社

2. 第2回 開催日：令和4年2月18日（金）

場 所：馬事畜産会館及びWEB参加

出 席：11社

(4) ブロイラー孵卵部会

1. 第1回 開催日：令和3年7月16日（木）

場 所；馬事畜産会館及びWEB参加

出席者：10社

2. 第2回 開催日：令和4年2月18日(金)

場 所；馬事畜産会館及びWEB参加

出 席：10社

(5) アニマルウェルフェアに関する小委員会

1. 第1回委員会：

開催日：令和3年5月25日(火)

場 所：馬事畜産会館会議室及びWEB参加

出席者：渡邊副会長 以下 15名

外部有識者による講演「アニマルウェルフェアへの対応と課題」の後、今後の活動について委員会の開催回数、会員への情報提供について協議を行った。

2. 第2回委員会：

開催日：令和3年7月16日(金)

場 所：馬事畜産会館会議室及びWEB参加

会員に対する雄ひな処理機の紹介及びアニマルウェルフェアに関する資料配布を協議決定。

3. アニマルウェルフェア研修会をWEBにより開催。

開催日：令和3年7月15日(木) 参加者：128名

(6) AIに関する農林水産省への要望及び質問事項に関する委員会

1. 「鳥インフルエンザ発生に伴い、会員が直面した困難や諸問題」を令和3年10月1日開催の第3回理事会で報告。

2. 令和3年11月5日に農林水産省と意見交換会を行った。

3. 外国人技術者の特例入国許可申請

昨年度、素ヒナの安定供給に不可欠な外国人技術者については入国を認める特別枠が認められ、本年度申請により令和3年11月30日に1社、3名の外国人技術者の入国が認められた。

一方、令和3年12月1日以降の入国は(2件申請準備)政府の新たな方針により、外国人技術者の入国申請は受け付けられなかった。

4. 令和3年度定時総会・理事会開催等

(1) 第46回定時総会

開催日：令和3年5月25日(火)

場 所：馬事畜産会館会議室及びWEB参加併用

(2) 協会運営事項

1. 令和3年度 事業・会計監査

開催日：令和4年4月22日（金）

場 所：協会事務所

2. 理事会

第1回 開催日：令和3年4月23日（金）

馬事畜産会館会議室及びWEB出席併用

第2回 開催日：令和3年7月16日（金）

馬事畜産会館会議室及びWEB出席併用

第3回 開催日：令和3年10月1日（金）

馬事畜産会館会議室及びWEB出席併用

第4回 開催日：令和4年2月17日（木）

馬事畜産会館会議室及びWEB出席併用

3. 正副会長会

第1回 開催日：令和3年4月23日（金）

馬事畜産会館会議室

第2回 開催日：令和3年7月15日（木）

馬事畜産会館会議室

第3回 開催日 令和3年9月14日（火）

馬事畜産会館会議室

第4回 開催日：令和4年1月18日（火）

馬事畜産会館会議室

第5回 開催日：令和4年2月17日（木）

(3) 経営セミナーの開催

種鶏孵卵経営対策として、孵卵機メーカー4社による最新の孵卵機器及びテクノロジーをテーマにWEBで開催した。

開催日：令和4年2月18日（金） 参加申込者数：61名。

(4) 外部関係団体の委員就任

① 都丸 高志 会長

（公益財団法人） 畜産技術協会

令和3年度初生ひな鑑別師養成・鑑別技術向上事業推進委員。

② 渡邊 周治 副会長

（一般社団法人）日本養鶏協会

令和3年度鶏卵の需給見通しに関する検討委員会。